

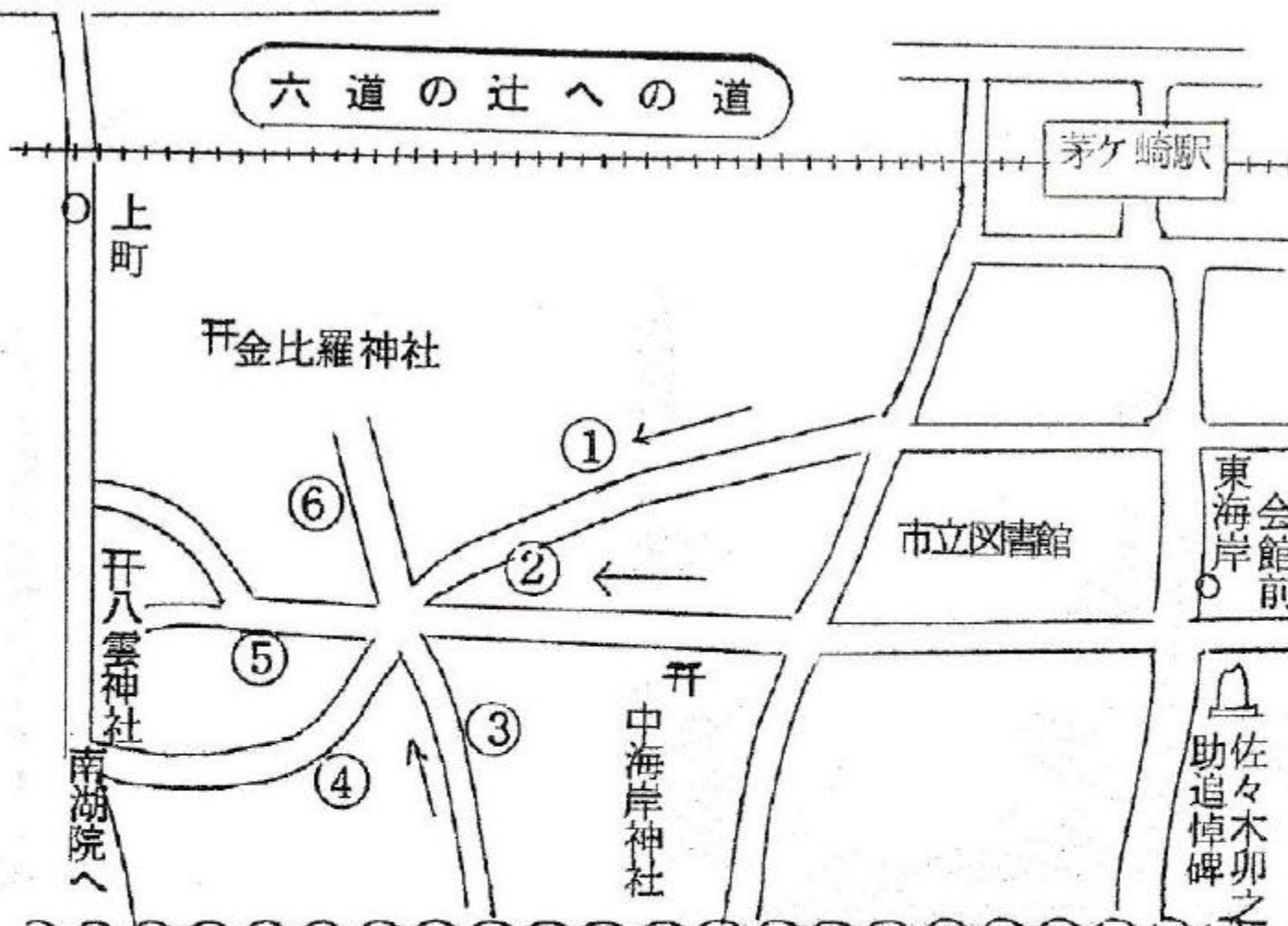
図解の①↓④の南湖院への道は、明治三十二年十月に南湖院が開設され、大正十二年七月十二日には茅ヶ崎駅南口が開かれたが、この南口より南湖院までの連絡路を大正十四年三月に巾三間、長さ二五二間に拡張した道である。(南口が出来る前は北口から大踏切りを渡る) 図解の②↓⑤の鉄砲道は、幕末の鉄砲場へ大砲等を運んだ道で、鉄砲頭の佐々木卯之助の追悼記念碑を、明治三十一年六月に茅ヶ崎初代村長の伊藤里之助氏が六道の辻に建立し、同碑はその后、中町の八雲神社境内を経て、現在は東海岸会館通りに移転されている。

図解⑥↓③の道は海岸への近道として、北より南への連絡道としての役割りを果たしている。

六道の辻は昔は茅ヶ崎のヘソとして重要な位置を占めていたが、時代が移り変って、今ではその名前さえも海忘れられ様として

ここに由来を記して、六道の辻をなつかしむ次第である。

(昭和五三年一月三日 茅ヶ崎市幸町十八の九)



六道の辻への道

茅ヶ崎駅

金比羅神社

市立図書館

東海岸
会館前

佐々木卯之助
追悼碑

中海岸神社

八雲神社

南湖院へ

上町